



自学・敬愛・誠実

三原の嶺より

◆学校教育目標◆

- ・自ら進んで学び
- ・自然や人を愛し
- ・たくましく生きる生徒

令和5年3月16日（令和4年度 第11号）

発行責任者 大島町立第一中学校長

生徒の道徳性が伸び、登校するのが楽しく、安全な学校
確かな力のつく学校、地域に学び、地域とともに歩む学校

直向きな努力

校長

3月2日（木）大島高校郷土芸能部による御神火太鼓体験を実施しました。長胴太鼓と締太鼓を使い基本的な打ち方から始まり、リズムに合わせて太鼓を叩いていきます。御神火太鼓は楽譜がなく口伝で受け継がれていますが、今回も高校生から「どんどんどーんのリズムで」と指示が出ると、それに合わせて太鼓を叩いていきます。最初は苦労しながらも練習を重ねるごとに速さやリズムが揃い、最後には全員で大島御神火太鼓・四季の中から夏の一部を演奏することができました。大島高校郷土芸能部の歴史は古く、郷土芸能の保存を目的に昭和48年、大島出身の民謡歌手である大島里喜さんへ依頼して発足したのが郷土芸能部と聞きます。大島の文化・伝承は宝だと感じたひと時でもありました。

大島町でも2月19日に文化祭芸能大会が開発総合センターで行われ、一般芸能6団体と郷土芸能7団体が文化芸能を披露し、私も楽しく鑑賞させていただきました。今回の芸能祭では一般芸能の後、重要無形文化財保持者である竹本葵太夫（本名：柳瀬信吾）さんの「人間国宝」「日本芸術院賞」「大島町名誉町民」受賞を祝うセレモニーがありました。人間国宝とは、日本の文化財保護法第71条第2項に基づき、文部科学大臣が指定した重要無形文化財の保持者として各個認定された人物を指します。

葵太夫さんは元町で生まれ元町小学校、第一中学校、大島高校を卒業後、国立劇場伝統芸能伝承者養成「歌舞伎音楽(竹本)」研修第3期生となります。研修中に初世・竹本扇太夫さんからその前明を譲られ2世竹本葵太夫を名乗ります。国立劇場7月歌舞伎鑑賞教室公演で初舞台を務め、早くから重要な場面を勤める機会を得ながら着実に芸歴を重ねました。常に先人の教えを重視し、研究に余念のない舞台の姿勢は、歌舞伎俳優や他の演奏者からも厚い信頼を得ています。葵太夫さんと歌舞伎との出会いは小学生の頃、テレビで歌舞伎を見たことに始まります。色彩も綺麗で「歌舞伎は面白い」と思ったそうです。そして中学2年生の時、東京の親戚に「歌舞伎座へ連れて行って欲しい」と頼み、生で歌舞伎を観ました。すると舞台の右手で演奏している義太夫節の存在に目がとまり「これはすごい。歌舞伎の竹本を仕事にしたい」と思ったそうです。また「門閥外の人でもこの仕事ができるのだ」ということを知り自分の進む道を決めたそうです。今もなお竹本研修生の稽古に力を入れ前進していくことを目標に、日々たゆみなく精進し、認定にふさわしい実演家になろうとしている姿に感銘するとともに、第一中学校第29期生の先輩である柳瀬さんの生き方に勇気をもたらすことができました。念ずれば花開く。直向きな努力は必ず実を結ぶものです。

3月17日（金）第76回卒業式が挙行され、一人一人が将来への夢をもち、予測不可能な未来社会を堂々と生き抜く力を身につけ第一中学校を旅立っていきます。自分の力を信じ、努力を惜しまず一步一步前に進んでいくことを願っています。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。来年度も、教職員一同、生徒の成長のために力を尽くしてきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

3年生を送る会 3月10日(金)

10日(金)に3年生を送る会を行いました。3年生を送る会は、学年の発表・3年間の写真を使ったスライド鑑賞・キャンドルサービスの三部門に分かれ、1・2年生から3年生への感謝を伝え、3年生に気持ちよく卒業を迎えてもらうための会です。

くろしお学級はスライドを使って、3年生にまつわるシルエットクイズを行いました。くろしお学級の先輩である栗島君へ感謝の手紙が読みました。最後には、お手製の巨大くす玉が登場し、くろしお生徒が割ると、中から「卒業おめでとう」の文字が飛び出し、3年生への感謝を伝えました。



1年生は「1Tube (いっちゅーぶ)」というタイトルで行いました。

3年生にまつわるクイズやコント、先生方のもまねなど、工夫をこらした盛りだくさんな内容で3年生を盛り上げました。最後は「マルマルモリモリ」の曲の歌詞を3年生への感謝の言葉にした替え歌とダンスで締めく



くりました。

2年生は「# (ハッシュタグ) 三年生へ」というタイトルで行いました。SNSをモチーフにして、ショートムービー風のようなコントやダンスを披露しました。コントやダンスの間には、SNSの動画の途中で流れる広告風の動画が入るなど、工夫をこらした内容で3年生を盛り上げました。



1・2年生は緊張の中での発表となりましたが、3年生が拍手と合いの手で盛り上げてくれたおかげで、堂々と発表を披露することができました。そうした盛り上げ上手なところが3年生の素敵なおところだと感じました。

そして満を持して3年生の発表です。3年生のタイトルは「三年間マジ感謝しかねーからマジありがとうサンキューday」でした。本格的なバンドとダンスを中心とした発表は、まるでライブ会場さながらの発表でした。3年生は受検があり1・2年生と比べると練習時間が短かったのですが、それを感じさせない完成度の高い素晴らしい発表でした。ステージ下にはペンライトを持った盛り上げ役もおり、より一層ライブ感を演出していました。

後半は、1月から今日までスライド係が作り上げてきた3年生の思い出を振り返るスライドショーでした。1年生からの写真が良く厳選されており、一中で過ごした3年間の思い出が詰まった素敵なスライドショーでした。

メインのキャンドルサービスでは、3年生を呼名しながら行いました。一人一人に3年生とのエピソードがあり、感謝の気持ちをしっかりと伝えられる会になったと思います。



校内球技大会 3月9日(木)

9日(木)校内球技大会が行われました。競技種目は生徒からアンケートを募り、男子では票数の多かったバスケットボール、女子はバレーボールを行いました。開会式後にくろしお学級のセレモニーが行われ、くろしお生徒がフリースローを行いました。全員が見守る緊張感の中、2人ともしっかりとゴールを決めてくれました。

試合は学年(グループ)対抗で行いましたが、1つのボールを真剣に追いかけて、どの試合も白熱した戦いをみせてくれました。今年度、最後の体育的行事となりましたが、スポーツを通して学年の団結を深め、良い思い出を作ることができました。

<男子>1年生は授業の時から声を掛け合い、打倒2、3年生を合い言葉に練習に励んできました。大会では、思い切りあるプレーで得点を重ねる場面も見られました。2年生は個人技能の高まりが見られ、スピード感あるバスケットボールで終始ゲームを有利に進めていました。3年生は4名と人数的なハンデを抱えての戦いでしたが、さすが素晴らしいプレーが随所に見られ、最高学年としての存在感を示す大会となりました。各学年ともに団結を深め、絆をより強くすることのできた球技大会でした。



<女子>女子は1、3年生が2グループ、2年生は1グループの5グループに分かれてリーグ戦を行いました。どの学年も体育の授業で学んだことを発揮することができていました。1年生はバレー部を中心に試合を組み立てました。2年生は安定したレシーブから攻撃につなげました。3年生は、最後の球技大会ということもあり、チーム全員で助け合って三段攻撃につなげていました。各学年、チームごとに工夫をしバレーボールを楽しむことができた球技大会になりました。



【結果】

	男子	女子
優勝	2年 Aチーム	2年生

ジオパーク研修 3月6日(月)

3月6日(月)に第3学年の理科でジオパーク研修を実施しました。当日はあいにくの曇りの天気でしたが、三原山山頂口駐車場から赤ダレを目指しました。途中、1778年に起きた「安永の大噴火」の溶岩である「パホイホイ溶岩」や、1986年の噴火の溶岩である「アア溶岩」を観察し、その違いについて学習しました。赤ダレの手前で稜線に出ると、雲の隙間から海を望むこともできました。赤ダレでは山の切れ間から8世紀ごろの噴火でできた赤い地層を望み、当時のままの姿に自然の偉大さを感じました。風が強く、少し肌寒い中でしたが、全員が前向きに参加しました。事後学習では、実際に目を見たことと、インターネットを使って調べたことをスライドにまとめ「三原山の成り立ち」や「1986年の噴火」について写真を織り交ぜながら発表を行いました。どの班も良くスライドがまとまっていて、良い発表でした。また、研修当日の帰り道の「幻の池」の手前で、各班で構図などの工夫を考えながら撮影した写真で、フォトコンテストを実施しました。三原山について改めて深く知る良い機会となりました。



校内作品展

3月6日(月)～3月10日(金)まで、本校校舎内において校内作品展が開催されました。1年間、子供たちはたくさんの制作・製作を行いました。子供たちの頑張りが垣間見えるような、魅力的な展示になったと思います。また、この校内作品展を通して、子供たちが少しでも達成感を感じることができれば嬉しいです。足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。



伝統文化体験授業：茶道体験（1学年）

2月14日(火)に1学年で伝統文化体験事業として、茶道体験を行いました。講師に大日本茶道学会の村田先生をお招きし、2時間かけて相互に茶を振舞い合いました。

村田先生が「茶道は難しい」と最初に仰っていたように、一見難しく見えるお手前の所作を一つ一つ丁寧に説明いただき、茶道について親しみをもてる機会になりました。

袱紗(ふくさ)という布で何度も道具を清め、お茶を立てる前に一度お湯で茶碗を温めるという所作には、お客様への「おもてなしの心」が表れています。また、お茶を飲む客同士も「お先に」「お相伴します」など、互いに気遣いの言葉を口にします。お茶を一口飲んだら「おいしゅうございます」と感謝の言葉を述べます。

薄茶の味に「苦い」と口に出す生徒もいましたが、そのときに村田先生が「どんなに苦くても感謝をこめて『おいしい』と言わなければいけない」と仰っていたのが印象的でした。

茶道の心得である「一期一会」は、もてなす側だけの心得ではなく、茶会に参加する客にも、茶会を構成する一員としての心構えを教えてくれる言葉だと感じ、日頃から実践していきたいと思いました。



伝統文化体験授業：和菓子作り体験（2学年）

3月6日(月)に2学年で伝統文化体験事業として、和菓子作り体験が行われました。講師に金太楼製菓の阿部先生をお招きし、2時間をかけて4種類の和菓子を作りました。

初めに、2種類の「鹿の子」を作りました。練り切りに食紅で色を付け、小さな羊羹を包み、表面に豆や栗をあしらいました。仕上げに刷毛で寒天を塗ると、つややかで美しい鹿の子が完成しました。後半は、難易度が上がり「菊」「椿」「桃」の花の形を模した和菓子を作りました。色違いの練り切りを三重に包み、スプーンや三角棒を用いて形を作りました。和菓子職人の技は奥が深く、苦労している人も多く見られましたが、その分、一つ一つを大切に作り、完成すると笑顔が溢れました。道具の準備や片付け、また欠席者・先生方の分を作ってくれるなど、周りに気を配り、人のために行動する人が多かったのがとても素敵でした。

一中では年間を通して日本の伝統文化を学ぶ機会が充実しています。これを機に和菓子の歴史や季節ごとの変化、込められた和の心などを調べてみてみましょう。



今年度の進路

2月21日（火）に都立第一次募集の学力検査が実施されました。今年度の入試はいろいろな変更点があり、生徒も教員も今まで以上に気を引き締めて臨む必要がありました。願書提出がインターネット出願になったり、自己PRカードが手書きではなく、パソコンでの作成になったり、英語のスピーキングテストも始まりました。

しかし、学年として、そして進路指導部として3年生に伝えてきたのは高校入試がゴールではないこと。どこに進学したのかではなく、進学先で何ができるのか。そして高校卒業後、どのように生きていくのかということです。義務教育9年間が終わり、これから先は自己責任で全てを決めていかなければなりません。自由でもあり、その分、責任も伴うということもこれからは忘れないでほしいものです。

最後に「世の中を変えていくには若い力が必要です。これからは教師と生徒という関係ではなく、この大島を、この国を、そしてこの世界をより良くしていく仲間になっていこう」という話をしました。第3学年の生徒がよりたくましく、より大きく成長することを願っています。

◎令和4年度卒業生進路状況（令和5年3月16日現在）

	男	女	計
都立高等学校	4	12	16
私立学校	0	1	1
合 計	4	13	17

民生児童委員との懇談会

例年、民生児童委員さんたちとの懇談会を年間2回程度実施しております。元町・野増地区では新しい民生児童委員さんも加わり、挨拶も兼ねて今年度2回目の懇談会を2月20日（月）に実施いたしました。懇談会で話し合う内容は、学校行事や学校内での生徒の様子、地域での生徒の様子などについてです。学校内だけでは見えない生徒の様子や地域の情報などについて情報共有を行うことで地域との連携や学校教育の充実を図っています。

令和5年度の感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せ、感染症対策についても徐々に緩和されてきています。本校でも文部科学省や東京都の基本方針を踏まえ、令和5年度の4月から以下のような対応を予定しております。なお、感染状況によっては全校でマスク着用や黙食等の対応をとる場合があります。あらかじめご了承ください。

- ① マスク着用は基本的に本人の判断とする。
- ② 給食時の会話を可とする。（机や体の向きは前方のまま）

くろしお学級のコーナー

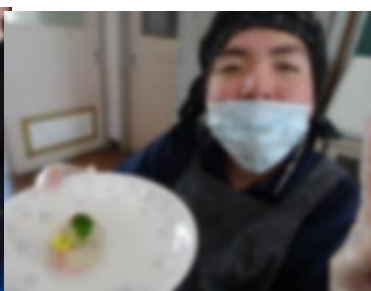
くろしおレストランが2日間限定でオープンしました。1日目のプレオープンにはお世話になった人や保護者の方、2日目には一中の先生方を招待しました。くろしお学級の生徒は張り切って接客をしていました。昼休みには一中の生徒の皆にクッキー配布をしました。大盛況の2日間でした！



年度内最後の遠足に行きました。トウシキヘリポートで遊んだ後、勤労福祉会館でボーリング対決をして、しゃぼん玉で昼食を食べました。その後は波浮港に向かい、港の波を見ながら1年間の思い出を振り返り和やかな時間を過ごしました。またいつか、みんなで行きたいですね。



大島高校の農林科と交流授業をしました。苗の植え替え作業をしました。ありがとうございました！



校内球技大会でフリースローのセレモニーをしました。バスケマンガの世界になりきっています。

階段アートがついに完成しました。テーマは「ジャングル」です。とても素敵ですね！



伝統文化体験授業：御神火太鼓体験

3月2日(木)に3学年で伝統文化体験事業として、御神火太鼓体験が行われました。大島高校郷土芸能部より2名の高校生をお招きし、基本的な姿勢やバチの持ち方から教えていただきました。最初は戸惑いながら太鼓を叩いていた生徒も、次第にリズムに乗りながらダイナミックに叩けるようになりました。最後には「夏」という曲のかけ合いの部分をグループごとに演奏しました。初めて和太鼓に触れる生徒もいましたが、大島高校の生徒の指導で短い時間でしたが、和太鼓の魅力に触れながら楽しく体験学習を終えることができました。



皆勤賞(3年間)、精勤賞、体育優良生徒、体育努力生徒、産業奨励賞

今年度の卒業式はコロナウイルス感染前の状態に近付けて行う予定です。14日(火)に卒業式の前行を行いました。前行に先立ち、増木同窓会長をお呼びし、令和4年度の皆勤賞・精勤賞・体育優良生徒・体育努力生徒・産業奨励賞の表彰を行いました。皆勤賞の基準は3年間無遅刻・無早退・無欠席、精勤賞は3年間の欠席が3日以内となっています。中学校の3年間といえば600日を超える長い期間です。健康な身体と健康に対する正しい理解と実践がなければ簡単に達成できないことです。

また、体育優良生徒は、体育・スポーツ活動において秀でた技術を有し、他の生徒の模範となる者、体育努力生徒は、体育・スポーツ活動に主体的・積極的に取り組んだ者、産業奨励賞は文化部門での成績が優秀な者とされています。皆さん本当によく頑張りました。

- ★ 3年間皆勤賞受賞者 1名
- ★ 3年間精勤賞受賞者 10名
- ★ 体育優良生徒 (男子) 1名 (女子) 1名
- ★ 体育努力生徒 くろしお学級生徒1名
- ★ 産業奨励賞 2名

4月行事予定

6日(木) 始業式・入学式	22日(土) 学校登校日 学校公開(始)
7日(金) 対面式・新入生歓迎会	保護者会(全体・学年・部活)
10日(月) 身体測定	24日(月) 衣替え移行期間
12日(水) 大島教育研究会総会	腎臓検診(2次)
腎臓検診(1次)	25日(火) 学校公開(終)
21日(金) 学力テスト(全学年)	27日(木) 内科検診
PTA総会	28日(金) 生徒総会